

# レゴランド土産 学生企画

名学芸大 ブロック遊びに導く菓子

名古屋港区のテーマパーク「レゴランド」で、名古屋学芸大(日進市)四年、鈴木綱乃さん(三)＝西尾市＝が企画開発したお菓子の土産品「HAPPY LEGOLAND BOX」(税込み千三百円)が発売されている。

カラフルな十八角の箱に、トマト味などのパスタスナック菓子が入った三角袋が二十七個詰めてある。袋には、ワニの絵と「レゴブロックでワニをつくること

ができるかな」の問いかけというように、動物や果物などの絵とメッセージが添えられ、ブロック遊びへと導く仕掛けになっている。

レゴランドで商品開発を手掛ける土岐彰人さん(四)は「今までと違う切り口のものに挑戦したい」と、同

大に打診。デザイン学科の尹成済准教授が、七人の学生に声を掛け、昨年四月に協同プロジェクトが始動した。学生たちはレゴランド園内で就業体験や市場調査



企画開発した「ハッピーレゴランドボックス」を手にする鈴木さん。①「ワニをつくることができるかな」などとブロックで遊ぶ「お題」が書かれている袋。いずれも名古屋港区のレゴランドで

をした上で新商品を提案し、鈴木さんの作品が商品化された。土岐さんは「パッケージを見てレゴランドを思い出せるし、ブロックと一緒に遊べるのがいい」と評価する。

わくわく感を出したくて箱を抽選箱の形にしたという鈴木さん。食べておしまいではなく、楽しみながら子どもたちのものづくりの力も育むことができた」と話した。(平木友見子)